

魅力

# 『コンパクト+ネットワーク』を実現する連立事業



## 知立駅付近連続立体交差事業

- 10箇所の踏切を除却して人や車の移動、駅へのアクセスが安全でスムーズに！
- 分断された市街地を一体化まちが活性化！
- 名古屋駅からの40分交通圏拡大でリニア開業効果を後押し！



連続する踏切の  
合計遮断時間  
ピーク時47分！  
「開かずの踏切」  
の状態



### 市街地を一体化・まちが活性化

- ・市街地を分断する踏切（線路）を除却 **10箇所** → **0箇所**
- ・交差道路数が増え、まちが活性化 **12路線** → **33路線**

### リニア開業効果の後押し

- ・名古屋駅からの40分交通圏拡大を後押し
- 名古屋豊田間の所要時間 **56分** → **40分以内** (知立駅乗り換え) (直通)



魅力

# 『コンパクト＋ネットワーク』を実現するまちづくり



## 土地区画整理事業

- 市街地の防災機能が向上！
- 鉄道駅の乗降客数が10年で5万人/日増加！
- まちなか居住人口が10年で3万人増加！
- 駅周辺の中心市街地に新たに都市機能誘導施設が立地！

### 防災機能の向上

※地震時等に著しく危険な密集市街地が対象

・道路整備により、延焼遮断、避難・消防活動が可能となる接道エリアが増加

50% → 100%

・密集市街地において、地震時、倒壊の恐れのある老朽住宅等の除却に寄与

164戸 → 0戸



施行前



施行中

### 都市機能誘導施設の立地

鉄道駅から1km圏内で実施の28事業に伴い、駅周辺の中心市街地に、医療・福祉・商業施設等の新たな都市機能誘導施設が立地

2007 → 2017 **235施設が新規立地**



交通結節点の改善とまちづくりの一体的整備により、大学や芸術劇場などが立地（東海市名鉄太田川駅周辺地区）

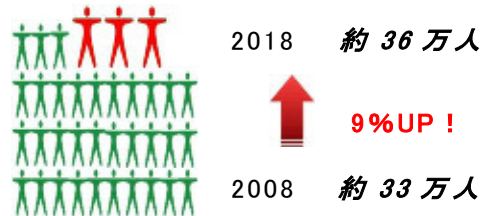
### 鉄道駅乗降客数/まちなか居住人口の増加

鉄道駅周辺整備を実施の25駅において、1日当りの乗降客数と、駅から1km圏内のまちなか居住人口が増加

鉄道駅乗降客数が  
10年で**5万人増加**



まちなか居住人口が  
10年で**3万人増加**



<参考>愛知県の総人口(1.7%増)  
2008: 7,394,926人 ⇒ 2018: 7,521,078人

魅力

# 特色あるイベントにより地域の活性化に貢献



## 県営都市公園

『セントラルラリー愛知・岐阜 2019』  
愛・地球博記念公園

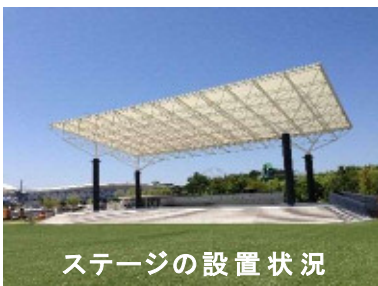
- 公園を活用した、特色のある大規模イベントが多数開催され、地域の活性化や観光振興に貢献！
- NPO等が主体的に公園施設を活用して、多様なプログラムを提供！

### 大規模イベントの増加

■愛・地球博記念公園において、年間を通じて、多くの大規模イベントが開催されている。

- YON FES 2019 (約 2.6 万人)
- 第 30 回クラシックカー・フェスティバル (約 1.5 万人)
- 全日本うまいもの祭り 2019 (約 15.0 万人)
- 全国スイーツマラソン in 愛知 (約 7.5 千人)
- モリコロパーク秋まつり (約 2.4 万人) 等
- 2021 年には、**FIA世界ラリー選手権**の開催が決定 (2020 年は新型コロナウイルスの影響により中止)

■他の県営公園においても、大規模イベントを多数開催。



ステージの設置状況



全日本うまいもの祭り 2019



YON FES 2019

### 市民参加・交流活動の拠点

■地球市民交流センター(愛・地球博記念公園)  
NPO等の主体による785のプログラムに、約112,000人が参加した。  
(2019年度)



地球市民交流センター



プログラム風景

魅力

民間活力の導入により賑わいを創出



## 県営都市公園

フォレストアドベンチャー・新城

- 民間活力を活用した施設の導入を図り、未利用地の利活用を図るだけでなく、新たな魅力により賑わいを創出！

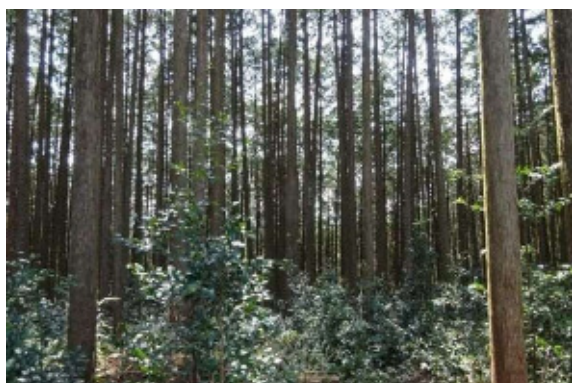
### ディノアドベンチャー名古屋(大高緑地)

- 樹林地を活用し、動いて吠える実物大模型の恐竜の森を探検するアトラクション。
- 平成 28 年 7 月にオープン。
- 県外からの利用者だけでなく、リピーターも増加。
- 毎年、年間目標(10 万人)を大きく上回る。



### フォレストアドベンチャー・新城(新城総合公園)

- 樹林地を活用した体験型森林アクティビティ。
- 平成 30 年 3 月にオープン。
- 毎年、年間目標(1万人)を大きく上回る。



魅力

下水道整備により河川・海域の

環境基準達成率の向上に寄与

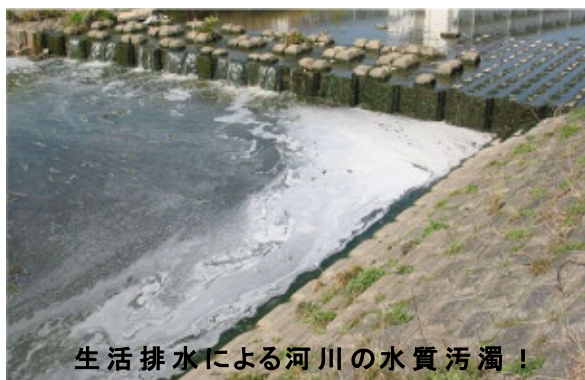


のんぼり洗い

(岩倉市・五条川)

# 流域下水道事業

- 下水道の普及とともに環境基準を達成する河川の水域数が増加！
- 2014年度に、初めて河川（BOD）の環境基準達成率が100%に！
- 2016年度に、初めて海域（全リン）の環境基準達成率が100%に！



生活排水による河川の水質汚濁！



下水道整備が進むにつれて河川水質は改善！

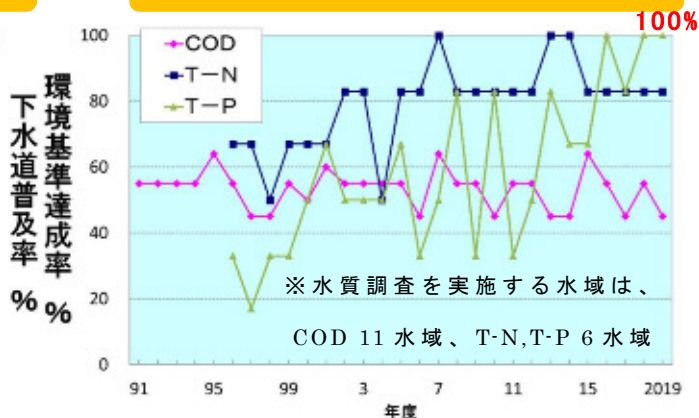
■ (1960年代) 都市化による水質汚濁  
 (1978年) 佐奈川(豊川市)下流の環境基準点  
 BODが60mg/l 超え

■ 現在では、環境基準を達成！  
 より親しみのある川へと変化！

## 下水道普及率と河川の環境基準達成率

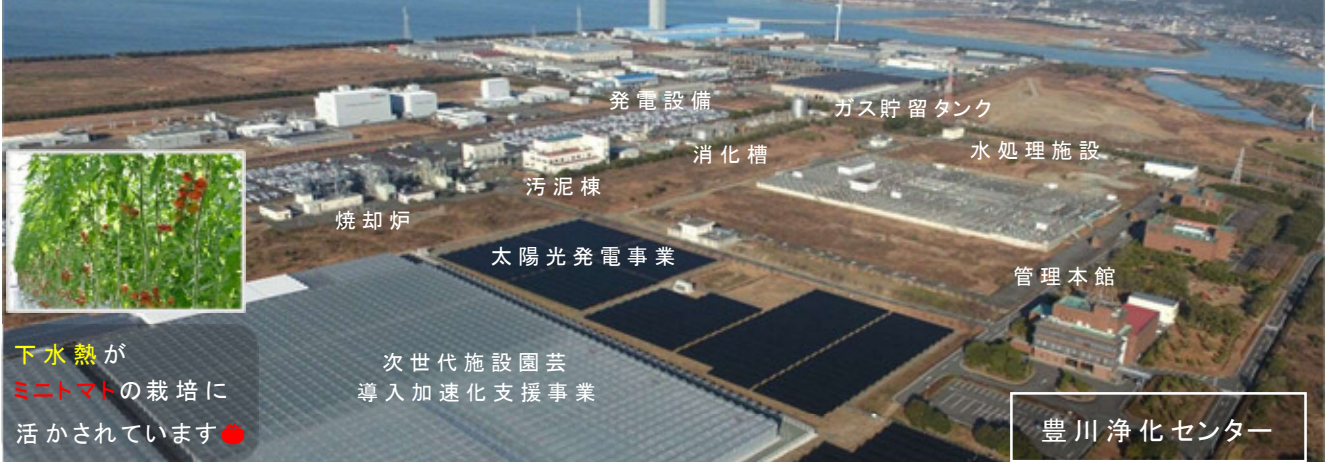


## 海域の環境基準達成率



魅力

# 地域のエネルギーを活用し、安定かつ持続可能なエネルギー社会の構築に貢献



下水熱がミニトマトの栽培に活かされています

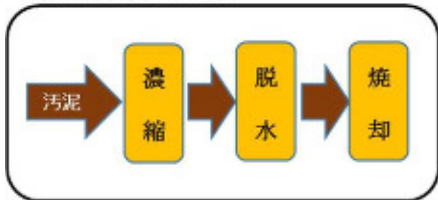
次世代施設園芸導入加速化支援事業

豊川浄化センター

## 矢作川流域・豊川流域下水道事業

- 「愛知産資源」の創出！県内2流域下水道にて、下水汚泥のメタン発酵により発生するガスを利用し、バイオマスエネルギーを利活用！
- 矢作川浄化センターでは、汚泥焼却炉の燃料として使用！
- 豊川浄化センターでは、年間1,160世帯分相当の電力を発電！

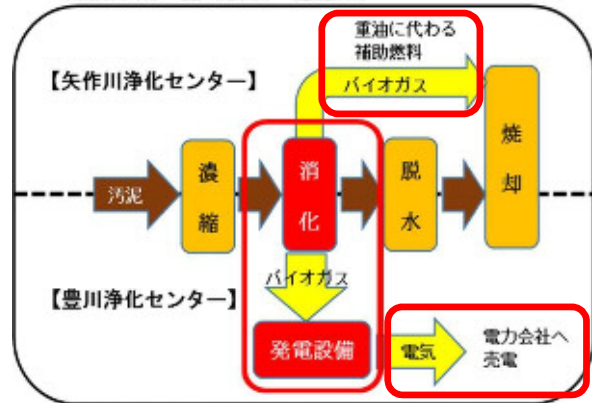
従来汚泥処理工程



脱水ケーキ

バイオガスの創出量 0

汚泥処理工程（消化工程追加）



### 矢作川浄化センター

■ 年間116万Nm<sup>3</sup>のバイオガスを利活用し、約1100kl（2015年度使用量の約60%）の重油使用量の削減を実現！



消化施設



### 豊川浄化センター

■ 年間216万Nm<sup>3</sup>のバイオガスを活用し、416万kwh（一般家庭の約1,160世帯相当分）の電力の発電を実現！



発電設備

